

1. 日程について

11月～12月中旬頃で調整予定

2. 研修内容について

〔案 1〕 コミュニティコーピング体験

テーマ：地域内の交流機会について

小高区の課題：高齢化や人口減少によって地域のつながりが少なくなり、社会的孤立によってさまざまな地域課題が発生している。

研修地：南相馬市小高区内（ファシリーターの方に来ていただきます）

内 容：

「コミュニティコーピング」は、一般社団法人コレカラ・サポートが企画・開発を行った、人と地域資源をつなげることで「社会的孤立」を解消する協力型ボードゲーム。

プレイヤーは「自治会の会長」・「世話好きなおばちゃん」・「地元のそば屋」など、地域の住民たちが抱えている悩みを解決できるスキルを持った人物を演じながらプレイ。住民の困りごと聞き、内容を明らかにする「コーピング」、相談できる専門家に会いに行く「つながり」、明らかになった悩みを専門家に解決してもらう「処方」のいずれかのアクションをくり返し、6つある地区に4人以上「困りごと」を抱えたままの住民が残らない状態でゲームを終了できればゲームクリア。

ゲーム終了後は、ファシリーターを中心にゲームの振り返りを行い、「ゲーム体験で得た気づきを実社会に生かすにはどうしたらいいか」を議論する。

〔案 2〕 一般社団法人葛尾むらづくり公社

テーマ：草刈り問題について

小高区の課題：高齢化地域での草刈り問題・草刈りを管理する事務局的組織の運営

研修地：福島県双葉郡葛尾村（現地までの所要時間45分）

内 容：

村民の帰還に伴い、行政課題解決を民間ベースでサポートする組織が必要なことから、「一般社団法人葛尾むらづくり公社」を設立。「村につどう人」と「交流をはぐくむ場所」をつなぐことを理念として活動をしている。

「一般社団法人葛尾むらづくり公社」の活動（村民の活躍を支える事業）の一つとして、「草刈り隊」の事業を行っている。帰村者の雇用創出や農業を生業にしてきた方に技能を生かす場を提供するとともに、作業を通した村民同士の交流の場としても機能している。これ以外にも、葛尾村でのイベントの企画・運営、復興交流館あぜりあの運営等も行っている。

〔案 3〕 なかやま商店街 事務局

テーマ：地域内の交流機会について

小高区の課題：小高区内の住民の交流や世代間交流が少なくなっていることにより、
地域の文化継承が困難となっている。

視察先：宮城県仙台市青葉区中山（現地までの所要時間 1 時間 4 0 分）

内 容：

地域内の少子・高齢化に対し、こどもから高齢者まで各世代がバランスよく共生する地域を取り戻すため、商店街振興組合と連合町内会が連携し、2015年に、下記「中山地域コミュニティ活性化構想」をまとめる。

【構想の3つの柱】

- ①空き家を活用して若い世代の地域内転入を促し、地域内空き家ゼロの街づくり
- ②共働きの若者夫婦が安心して安全に子育てできる街づくり
- ③高齢者が安心して自分のふるさとを終の棲家として暮らせる街づくり

この構想を実現させるため、下記の4つのプロジェクトを設定している。

【4つのプロジェクト】

- ①子ども子育て支援プロジェクト
- ②空き家のない街プロジェクト
- ③地域助け合いプロジェクト
- ④いきいき老後プロジェクト

上記プロジェクトの一環として、地域の都市公園内に保育所の整備を計画。平成27年8月には、仙台市が国家戦略特区の指定を受け、公園内の保育所設置が可能になったことから、地域が主体となり「中山とびのこ保育園」の整備・運営を進めることとなり、平成29年4月に開園した。
現在も、上記のプロジェクトに基づき、地域内で協議や模索を重ねながら活動をしている。

〔案 4〕 もらえる戸建住宅

テーマ：空き地・空き家の問題について／移住定住

小高区の課題：避難した方が小高区に残している空き地・空き家の活用

視察先：茨城県境町（現地までの所要時間 3 時間 5 分）

内 容：

新築賃貸住宅を町で整備し、「25年住み続けたら建物と土地を無償で譲渡する」という取組。家賃は84,000円で、一定の基準（子育て世帯・新婚世帯等）をクリアすると、64,000円で住むことができる。賃貸住宅のため、固定資産税・住宅ローン・住宅の火災保険も掛からず、勤務先の住宅手当制度も活用可能。入居の条件には、「町内会に加入し地域交流をしていただける方」等の条件もあり、地域コミュニティの活性化にも繋がられている。

現在までに整備した、戸建タイプ17棟とマンションタイプ108戸はすべてが満室となっており、現在第3弾として戸建21棟を整備中である。

〔案 5〕オガールプロジェクト

テーマ：まちづくり

小高区の課題：旧小高商業高校の今後の利活用

視察先：岩手県紫波郡紫波町（現地までの所要時間 3 時間 1 0 分）

内 容：

紫波中央駅前の町有地を中心とした都市整備を図るため、町民や民間企業の意見を取り入れ、紫波町公民連携基本計画を策定。これに基づき、平成 21 年度から紫波中央駅前都市整備事業（オガールプロジェクト）が始まった。

図書館・町役場・飲食店・レンタルスペース・スポーツ施設・宿泊施設・病院など、生活に必要な施設が集まった施設「オガール」。少子高齢化や人口減少社会の状況下での、インフラ整備の在り方や福祉施策への取り組みなどのまちの課題に対し、公民連携でまちづくりや事業開拓に取り組んでいる。

年度	研 修 実 施 日	研 修 内 容
	研 修 場 所	
R5	11月24日(金)	【講話:元女川原子力発電所所長 渡部孝男氏】 ・震災当時の女川原子力発電所の様子 ・震災からの復興と町おこし 【公民連携のまちづくりについて】 ・東日本大震災の被災状況について ・民間主導のまちづくりについて
	女川町まちなか交流館、シーパル ピア女川 (宮城県牡鹿郡女川町)	
R4	12月7日(水)	【原発事故被災地におけるまちづくりについて】 ・一般社団法人ならはみらいのまちづくり活動について ・檜葉町活性化協議会との意見交換会 (テーマ:小高区・檜葉町の課題について)
	一般社団法人ならはみらい (福島県檜葉町)	
R3	11月18日(月)	【持続可能な地域づくり(オンライン開催)】 ・いづろり事業について ・ゼロ・ウェイスト事業について
	合同会社パンゲア (徳島県上勝町)	
R2	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催中止	
R1	9月30日(月)	【地域共生社会】 ・福祉タウン内に併設された、保育園と老人施設の交流を通じた 取り組みについて
	公益財団法人 星総合病院『星ヶ丘保育園』(福島 県郡山市)	
H30	11月27日(火)	【介護支援について】 ・介護を支援する福祉用具や住宅改修について ・自立支援へ導くための支援について ・介護ロボットについて
	福島県男女共生センター (福島県二本松市)	
H29	10月30日(日)	【住民が創る持続可能な地域づくり】 ・地域住民の繋がりで組織する課題解決組織について ・組織内の人づくり(マネジメント人材・プレイヤー人材)について
	NPO法人 きらりよしじまネットワーク (山形県川西町)	
H28	1月25日(水)	【市民交流施設の視察】 ・多世代交流、子育て支援、健康増進の機能を持った複合施設の見学
	本宮市民元いきいき応援プラザ ～えぽか～ (福島県本宮市)	
H27	1月17日(日)～18日(月)	【地域再生拠点施設の見学】 ・拠点施設の機能や市民協働のあり方、運営方法などについて
	空のえき「そ・ら・ら」 (茨城県小美玉市)	